

皆が知らない消防人の姿

稜南中学校 二年 富崎 怜

僕が伝えたいのは、消防人の考え方や、努力・日々の心構えです。実際、救急車や、消防車が走っているのを道路で見かけたことはある人は多いかもしれませんが、出勤までの準備やどんな気持ちでやっているのかは分からない人が多いと思います。

一学期、学校の総合学習で職場体験学習がありました。そこで、ぼくは「消防署」を選び、署長さんの貴重な話をはじめ、たくさんの方々の話を聞き、消防活動に関する体験をさせてもらいました。ぼくが行ったのは天草中央消防署です。天草で一番大きい消防署です。そこで初めて見たのは、勤務交替です。勤務交替は、一中隊と二中隊が日替わりで働くので、交替する式のようなものです。行動は素早く、訓練をしていない人ではないです。

勤務交替終了後、署長さんと、消防署の人

の話も聞くことができませんでした。まず、署長さんのお話は、署訓についてでした。署長さんがおっしゃっていただけたのは「消防は、社会のために大きな役割があり、強きをくじき、弱きを助け、自分を犠牲にしてでも、社会に尽くす」という内容です。この言葉から社会への思いが伝わってきます。消防という仕事は、社会からの信頼があります。それを裏切るためにはいけません。だからこそ日常生活から心がけていっているのです。次に消火活動や救助活動

について話されました。消火、救助活動の時には、チームという意識で動かないといけないそうです。例えば、現場で一人で勝手に行動している人がいると、危険な行動をしてしまいうことがあります。そうすると、まず、その人の命が危なく、最悪の場合、他人の命をうばってしまいうことになるそうです。それを防ぐために、勤務交替などで動きをそろえ、さびきびとしました。行動をしているのです。そういって心がけが、現場で役に立って行くのだ

と思っています。僕は、今までいろいろな現場で
消防人が働いているところを見かけたことが
ありませんか。あ、救急車だ。という感じで
見ていただけで、特に何も考えていませんで
した。勤務交替の時に、行く車両点検でも、出
勤の時に使う車両の確認でも、大変苦勞をさ
れていきます。救急車では、用具の管理はもち
ろん、酸素ボンベ、ガソリンなどの途中で無
くなっ、てはいけないものは、絶対に確認する
そうです。救急車も消防車も、このような点

検が終わって初めて使えるのです。
これからは、このように社会のために頑張
っている人々がいるということをお忘れず、感
謝の心を持って、生活していきたいです。普
段、消防の人たちが活動されている姿は格好
いいです。これから、今までより少し、消防
人の活躍に興味を持ってみたいのです。そして、
この天草が安全な町や市になったらいいなと
思います。